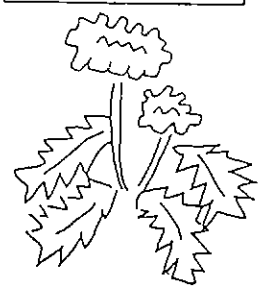


NO 1 7 5
 H14年1月1日
 一 発 行 -
 〒869-1217
 熊本県菊池郡
 大津町森54-2
 社会福祉法人
 三気の会
 三気の里
 ☎096-293-8100



呼称

施設長 松田 健

「○○ちゃんよくてきましたね

対しての褒め言葉を考える。称賛の気持ちを含めて軽くポンと肩をたたく、握手をするなどです。

。」「○○ちゃんよくてきましたね頭をなでている姿を見ると複雑な気持ちになります。技術的に優れた人なのか、単に優しい人なのか、偽善者なのか、利用者を馬鹿にしているのか、判断に迷うことがあります。褒めることは大事ですが状況によって褒め方が違うはず

です。二十歳の一年目の職員が四十歳の利用者に冒頭の場面での接し方をしているとしたらどうでしょう。知的障害者の中には、右記の状況においても指導として有効なケースがあるのでも分かりますが一般的な話として考えれば、相手との年齢差やかかわりの程度等を考慮した上で、年相応の扱いをすべきです。あるいは、徐々にレベルアップしていくことを考えるべきです。幼児言葉をやめ、大人に

施設で未だに「ちゃん呼び」している施設の方が少ないと思います。いつまでも子供でないから今日から「ちゃん呼び」することはやめずときちんと説明し、保護者を含め全員が統一することによって多少の混乱は予想されるものも難無く移行していくものと想像できます。現に保護者の方で「さん付け」で呼ばれている人がいます

が、私には、そうではないと考えます。「さん付け」しても療育放棄をしている酷い施設は幾らでもありますし、呼び捨てをしてもいい施設はあります。個人やグループで何日も寝泊まりをしなから不適応行動改善のため取り組んでいる職員が利用者との絶対的信頼関係を得た場合や親と子ぐらの年齢差があり、親的立場で威光を発しながら見守ってくれている人がいる場合など、そういう人が呼び捨てをしたからといって批判のできるのでしょうか。人間と人間とのかかわりの中で不思議でない当たり前の出来事だと思えます。呼び捨てをしたからといって評価が下がるといふ短絡的な価値基準はどうかと考えます。しかし、私は基本的には呼び捨てには反対です。条件を満たすような人はなかなかいないのですが自分のこととできないような人が呼び捨てして

いる姿をみて拒絶的な気持ちが沸き起こったからです。強者、弱者の人間関係を想起し、対等な関係だからこそ指導すべきところは指導し、信頼があるなら呼び捨てをしても構わないとの考えを躊躇してしまふこととなり、いっそのこ

から「ちゃん呼び」することにはやめずときちんと説明し、保護者を含め全員が統一することによって多少の混乱は予想されるものも難無く移行していくものと想像できます。現に保護者の方で「さん付け」で呼ばれている人がいます

が、私には、そうではないと考えます。「さん付け」しても療育放棄をしている酷い施設は幾らでもありますし、呼び捨てをしてもいい施設はあります。個人やグループで何日も寝泊まりをしなから不適応行動改善のため取り組んでいる職員が利用者との絶対的信頼関係を得た場合や親と子ぐらの年齢差があり、親的立場で威光を発しながら見守ってくれている人がいる場合など、そういう人が呼び捨てをしたからといって批判のできるのでしょうか。人間と人間とのかかわりの中で不思議でない当たり前の出来事だと思えます。呼び捨てをしたからといって評価が下がるといふ短絡的な価値基準はどうかと考えます。しかし、私は基本的には呼び捨てには反対です。条件を満たすような人はなかなかいないのですが自分のこととできないような人が呼び捨てして

なり、「カワイイ、カワイソウ」といった言葉の羅列状態を懐疑なく過ごすことになりま

三気の里では、自閉症者は変更がききにくいとの理由で小さいころから慣れ親しんだ呼び名を変え

ることを決っていたという経緯があります。統計やアンケートを取った訳ではありませんが自閉症者の

と呼び捨て禁止と言った方が分かりやすいと考えることに繋がりました。

極論かもしれませんが、自分も呼び捨てでできるような利用者との深い人間関係を築けるような職員になりたいと思っています。また、呼び捨てしても違和感がなく受け止められる実力のある人に多く出会いたいと思っています。



後援会募金のご案内

三気の里では、後援会を募集しています。御入会頂いた方には、毎月発行している機関紙「たんぼぼ」をお送り致します。

振振り込み先

口座番号

0197018114902

社会福祉法人 三気の会後援会

保護者会代表 魚谷 秀文 宛

住所

熊本県菊池郡大津町森5412

一口 3千円

団体は、一万円より



5班ニュース・1



5班・ザ・田楽

12月のレクリエーションでは、高森町にある月廻り公園に、月廻り温泉と月廻り田楽を楽しみに出発しました。12月の阿蘇だから寒いだろうと思っていましたが、いざ到着してみると以外と温かく前日からの雨との天気予報も微妙にはずれ、雲の合間から青空も見えていました。そして早速田楽を食べに行きました。店内には田楽を焼くための囲炉裏があり、準備をせよと皆で囲炉裏を囲み、さぁ食べようかとしましたが、まだ焼けておらず、しかも食べる人のための軍手も用意されており、何で軍手がと困惑しつつ、ここから皆と食欲との戦いでした。あまりにも焼けない田楽対皆の腹の虫、あまりにも見つめ囲炉裏の熱さでだんだんと皆の顔も赤くなり、手を出そうとしても「焼けていないよ」と止められ、やっと焼けたと思っても、そこから田楽味噌を塗りまた焼かなければならぬ…目の前に食べるものがあっても食べられない辛さ、しかし待ったかいたのか焼けた時には皆美味しそうに頬張りました。

山下

2班・2班の重大ニュース

今年も、早いものでもう12月です。今回は、一年を振り返って2班の重大ニュースを発表したいと思います。

まず、第1位 作業のペースが上がりました。(4月に比べ、利用者一人一人、作業の目標数が上がったり、作業の課題自体が一步進んだものになったりし、進歩が見られ、仕上がりも上手になってきています。)

第2位 現2班初!保護者同伴の宿泊レクリエーション実施(毎月のレクリエーションに、グループ活動を多く取り入れ、その成果として、保護者の方々にも見て頂くことができました。)

そのほか、11月より非常勤の野口さんが2班に入られ、益々賑やかに、パワフルになりました。また、先日西山さんが結婚され、井島さんとなりました。

まだ他にも、いろいろありましたがそれはまた別の機会に。来年も、2班一同頑張っていきたいと思えます。

菊池



1月 1班ニュース2

1班・成長

1班では、室内作業として主にプラスチック製品の分解・弁別を行っており、黙々と作業をこなしている毎日です。そんな1班に先月、養護学校より“マリさん”という名前の16歳で笑顔がキュートな女性が実習生として仲間に入り一緒に作業を行うことになりました。さて、マリさんが1班の皆と一緒に作業を始めてから、ここ数日な～んとなく作業中の空気がいつもと違うと思っていましたが、やはり何かが違う。作業棟を見渡すと“!!”。1班メンバー、一人一人の作業に取り組む表情、スピードが違うのです。その中でも特に変化がみられたのが20歳になったばかりの愛嬌たっぷりマイさん。普段なら30分程で集中力が切れてしまう作業を、その日は約2時間、時間一杯やる気満々で取り組むことができました。それから“マリさん効果”とでもいえるのでしょうか。マイさんはテキパキと作業をこなし“お姉さん”振りが遺憾なく発揮された2週間となりました。この出来事から“人は些細なことでも、きっかけがあれば成長していく”…ということを知り、私自身も“マリさん効果”で、ちょっぴり成長することができた気がします。ありがとう、マイ&マリさん！ 平山

4班・成長その2

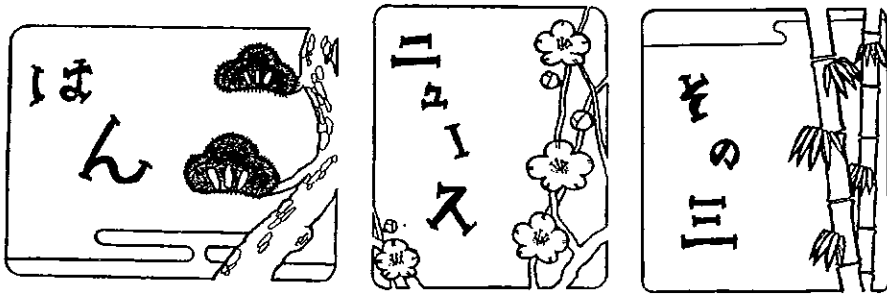
寒い寒いこの時期、皆さんは、どのようにお過ごしですか。狸猫はコタツで丸くなる。

今は、収穫の真っ最中です。（しいたけ、人参、ホウレン草、ジャガイモ、大根）を販売しています。もう購入されましたか。そして忘れてはならないのが、元田さんから頂いた人文字の種。今では、すっかり成長し、収穫の時期です。これが又、大人気です。

成長その2 今回は、るり子さんのことについて少しお話したいと思います。年齢は私の母と同世代、私とは二回りも違います。るり子さんも私も、意地っ張りで素直じゃないとくれば、当然衝突が多いのは、言うまでもありません。しかし、ケンカするほど仲がいい、という言葉しちります。担当をさせてもらい、もうすぐ一年になります。やっとお互い認め合えるようになってきました。これも成長している証しだと思います。これからもよろしくお願いします。 上野

3班・技術者達決戦だ

以前個々の利用者が一喜一憂しながら作業に取り組んでいることをお知らせしましたが、3班の技術者達は日に日に腕を上げていき、次々と製品は仕上がっていくのですが、職員の力が足りず市場がなかった為に、今までは出来上がった製品を大切に大切に作業棟の棚に片付けていたのです。しかし2001年12月21日から岩戸の里の売店で3班の作業製品をおかせてもらえることになり、3班の製品も日の目を見るときが来ました。まずは、コースター、キーホルダー、押しピン、マグネットといった製品からスタートです。まだ試作品であるペーパーホルダーを年明けに販売出来るように、これから改善を重ねていきます。このことは非常に嬉しく、励みとなるのですが、3班技術者達の製品が世に通用するかどうかの判断が下りますので怖くもあり複雑な気分です。新しい年明けはみんな“売れたよ”と喜んでいるためにも今、手を抜かず、気を抜かず認められる物を1つ1つ作り上げるだけです。よい知らせを待っていて下さい。 石丸



6班・エース登場

あっという間に12月も半ばを過ぎ、冬の寒さも本格的になりました。冬といえば納豆作り、そうワラブとで作ったおいしい納豆の季節です。ワラブと作りは以前から農耕班のるり子さんが取り組んでいましたが、注文が増えたので我が元気班から「エース幸男さん」を投入することになりました。幸男さんは園芸班時代にワラブと作りをしていたので、1〜2枚編むと感を取り戻し、きれいなワラブとを次々に編んでいきます。機械の調子が悪くて糸がねじれなかったときには、「手動」でねじって日落ちもありません。そんな姿に刺激された先輩るり子さんの「負けとられん！」という声にも一向に動じず黙々とワラブとを編み続ける幸男さん。皆さんの食卓にもこのワラブとで作った納豆が上がる日が来るかもしれません。その時は幸男さんのワラブとを編む姿を思い描いてみてください。納豆が一層おいしくなるはずですよ。

大賀



餅つき大会

一年とは早いもので今年も残すところ僅かになりました。

去る12月8日(土)毎年恒例の餅つき大会が行われました。今年三気の家、森の子供会、九電工をはじめとする沢山のボランティアのご協力のうえ参加者は過去最高で盛大な餅つき大会になりました。つく餅米も昨年の90キロから120キロへ増え、利用者の皆さんの頑張りに益々期待がかけられました。室内作業の1・2班の人はややパワー不足のようで軽く3、4回ついて次へ交代しかし農耕班、園芸班は元気一杯、額に汗を浮かべ12月の寒さも何のそのと言わんばかり、食事前の軽い運動に過ぎないようでした。餅つき大会の目的「皆で餅をついて食べる。」達成できたようです。それでもやっぱり食べるのが一番嬉しいようで自分の好みの味付けを楽しんで食べていたようです。無事に終わりこれで三気の里もお正月が来るのを待つのみとなりました。その前に筋肉痛が先にきそうな気分が...

阿南

食堂営業中

十二月八日に行われた餅つき大会は保護者の方、ボランティアの方のお力添えがあり無事終了することが出来ました。有り難うございました。餅つきが終わると冬休み、お正月とやって来ますが、皆様はどのように過ごされますか。

三気の里で過ごす利用者には正月気分を味わってもらうために一月一日は赤酒、お寿司、雑煮を食べさせて頂きます。るり子さんは特に赤酒を楽しみにしているようなので、酔っ払わない程度に飲んで欲しいと思います。

恵良

後援会ありがとう

林 千沙子・松本 真二
河野 啓助・岩下 由紀

※敬称略



療育雑記

歯科治療

岩本 洋子

歯痛というものは、とてもつらい。歯が痛ければ、思うようにご飯が噛めないし、眠れない。苛立ちが募るばかり。一般的に歯科治療が嫌いな人は結構いる。歯科治療は早期発見、早期治療と言われているが、なかなか、これが行けないのだ。利用者の中でも歯科治療が嫌いな人がほとんどだ。治療を自分の目で確かめることができないので、何をされているのか分からないし、口の中の冷たい器具の感触や、あの独特の薬品の味、キーンという音と、振動。マスクをはめた歯医者さん、そして痛み。不安と恐怖で口を開けることができない、診察台に座れない。だからといって虫歯の進行を見守る訳にはいかない。歯科治療をしなければ虫歯はひどくなるばかりだ。三気の里では利用者の、歯科治療での本人の状態に合わせて、歯科を選び、必要な場合には開口器や抑制、全身麻酔などを使い歯科治療を行う。もちろん、本

人の協力を得て徐々に行っていく。ある日、Mさんに虫歯ができていた。うーん、治療に行かなくては。入所して2年のMさんは、三気の里に来てから歯科治療に行きた事がなかった。歯科治療をどのような状態で受けていたのか、分からない。さっそく、お母さんに、歯科治療の様子を伺った。Mさんのそれまでの歯科治療は全身麻酔を使っていた治療であった、とのこと。どうしても、歯科治療がでなかつたらしい。そこでお母さんは、このままでは今後が大変だと思い、歯科治療を受ける練習をされた。歯科で定期的なブラッシング指導や歯科検診などを受けたり、どんなことをするのかMさんに知ってもらうために、他の人が治療しているところを見せたりと、様々な工夫をしていた、とのことだった。

さて、どうしたものか。Mさんは様々な場面で、失敗したことに対して緊張と不安がとも強く、その不安からまたその行動を繰り返してしまうことが多い。だから、三気の里に来てから、初体験の歯科治療では、なるだけ失敗させたくなかつた。Mさんにとって歯科治療は怖くて痛くて嫌な事、ではなく、歯科治療を上手に受けて誉められたという、喜びと自信を持ってもらいたいと思っていたからだ。私はドキドキして歯科通院にMさんを送り出した。さて、結果は：誇らしげな顔を見せたMさん。どうやら上手くいったらしい。引率した職員に様子を聞いた。初めての場所で、初めての歯科治療だったが、ほとんど抵抗もなく、口も開けることができ、とーっても上手に歯科治療を受けることができたとのことだった。

今までの全身麻酔の歯科治療から比べると、比べる事が出来ないくらい大きく成長したMさん。きっと家族のMさんの将来を思う気持ち、歯科治療の練習の成果、そして日々の生活の中から、自分は上手にできるといふ、Mさんの自信が生んだ結果だと思ふ。おそらく今後の治療だとえ失敗しても、しっかりと修正できるだろう。Mさんの大きな成長を見れた歯科通院だった。



事務便り

二十一世紀最初の一年を一文で表現すると、世論調査では「戦」が一番だったとメディアが伝えてました。

なるほど納得しました。二十世紀も破壊の繰り返し世紀だったが、日本は戦後奇跡的にも先進国の仲間入りとなり、豊かな国となりました。物質的に豊かになったが、精神的にはとの疑問も多く聞かれます。社会保障も多く望めなくなってきた昨今、福祉施設も自立を求められサービスの選択肢の提供等課題は多い。利用される側、される側も意識改革を求められます。時代でしょうか。よい年でありませうように。

田之上

三気の里メールアドレス紹介

三気の里についてのご意見、要望その他何でも結構ですのでぜひメールをお送り下さい。

皆様の声をお待ちしております。

E-mail:

sanki@siren.ocn.ne.jp

地域交流支援

一年とは、こんなに早いものでしょうか？雪が舞うのも早いような：今年世の中も、色々なことがおきました。三気の里も、今年色々なことに挑戦した年でした。地域との交流をもっと深めたい、三気の里の事をもっと知ってもらいたいと思い、色々な行事に参加又は、ご協力をお願いしたところ、思いもかけず、たくさんの方の参加、ご協力が得られたことは、職員、利用者一同嬉しさと感謝で一杯です。今年一年地域の方には大変お世話になりました。来年も更なる飛躍を目指して、頑張りたいと思いますので、なにとぞよろしくお願いします。



八木

旅行の思い出

保護者 林田 正子

以前からの念願の宿泊レクに今回参加出来ることになりました。旅行等縁のない私ですので、内心ハラハラ・ドキドキでした。十月半ば晴天に恵まれた日、福岡経由で門司港レトロへ。歴史的でエキゾチックな感じの美しい景観でした。その日の内にバスは下関へと入り山口県の秋芳洞見学、おそるおそる入る洞窟は神秘的で力強いものでした。北長門市のホテルは豪華でカラオケ・踊り等始終大賑わいでした。二日目、青海島巡りは「海上アルプス」と異名を取る程男性的で、雄大で波しぶきに皆歓声をあげたものです。最終日の「スペース・ワールド」は、あつという間に時が経ってしまいました。いろんな施設・史跡等廻り改めて、子供達の態度に成長が感じられました。又、保護者の方々と苦労話を聞いたりして和気あいあいと楽しめた三日間でした。最後に園長先生初め職員の皆様方には、大変尽力をつくされ本当にお世話になりました。

一年を振り返って

のんき、こんき、げんき、やるき、まけんき、いいき、きかんき、なんのき、やまのき、こうせんのき、とにかく頑張ります。松田

二十一世紀幕開けの年であったが、三気の里も新しい年と共に前進するでしょう。毎年新しい事に挑戦する若いスタッフの力に魅了される自分でした。田之上

「戦」

今年の選ばれた漢字です。TVでは、空爆、テロ、その犠牲者である子供たちがニュースで毎日流れています。せめて心には「愛」を無くさないよう心掛けていたいです。田邊

本当に暗いニュースの多い一年でしたが、来年は「平和」な年になりますように！中牟田

人生の大きな節目、遷暦の年でしたので、皆様から色々とお祝い、ありがとうございます。来年は一から気持ちを立て直して頑張ります。砂野

はあ！今年も慌ただしく終わりました。来年は、ゆとりをもって日々を送りたいものです。岩本

約10年ぶりの仕事復帰。不安のなかで、三気の皆様の「純粹さ」「暖かさ」「熱さ」に巡り会えたのは、私の人生の節目になる1年だったと思います。野口

泣き・笑い・考え・喜びの毎日だったこの1年。来年もさらに大泣き・大笑い・大いに悩み考え・大喜びの1年にしたいと思う。江藤

今年十年表彰を受けた年。自分ではそんなに長く働いた気がしないが、十年と言うのには驚いた。前田



前田

一年を振り返って

元気に過ごせた一年間、来年も皆の健康を願っています。ただし、「本を読むぞ」と掲げた目標は来年に持ち越すことになりました。



黒澤

本当にありがとうね！

毎朝、洗濯室入口で待っていてくれるみんな！お陰様で二度目の三気の里での正月が来ます。 西田



今年には私にとって記念すべき大切な一年でした。これからも渡邊

(旧上村) 奏子をよろしく願います！



渡邊

この一年、我武者羅、悩み、葛藤、まだまだこれから、という言葉がよぎります。支えてくださっている皆さんありがとう、そしてこれからもよろしく願います。

木佐貫

今年の夏は厨房の中はととても暑かった。しかし体調も崩さず頑張れた。良い年だった。 厨房 岡田

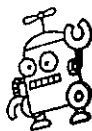


朝の洗濯室のいつもの風景。手伝ってくれる利用者の真剣な顔。満足そうな笑顔。 私の一年を支えてくれたネ！



森岡

今年一年あっという間に終わってしまいました。来年も後悔なく頑張っていきたいと思います。 秦



今年厄年だった私には、大小様々な厄が降りかかった。が、世界的に見ても大きな災いの年であった。世界平和(と個人の幸福)が戻りますように。

坂本



今年には畑で野菜作りをがんばった年で楽しい一年でした。来年もひそかに、いろいろな野菜に挑戦したいと思っています私です。 大橋



一日一日を大切にと思って過ごした一年でしたが、勉強不足なところばかりでした。来年は自分自身に自信が持てるような年にしたい。



出牛

悩む前にまず実行！やると決めたらずく実行！が来年こそは出来る年に...



井手

時が経つのが早く、「後から。明日しよう」と言っている間に仕事が増えている。思ったら即、実行。



両角

1年を振り返ると、色々な事を利用者にお教わった。これからも、いろいろな事を利用者から学びたい。



佐藤

勤めて十年以上。それまで家にいた私が、皆のお陰で今年も仕事ができ、無事に過ごすことが出来た。



厨房 中山

今年はいし座流星群を見たので、来年は良いことが沢山あること間違いなし☆仕事頑張ります。



金丸

厨房内での春来たる組と春待ち組。来年こそは春来たる組に加入しようと思いついて早？年。来年こそ。



矢野

日々反省、日々勉強だと、感じる一年間でした。自分に妥協していた様に思います。自分に負けない、気持ちで頑張りたいです。



山下

一年を振り返って

今年から、担当を持ち、改めてこの仕事の難しさや、楽しさを知ることができた一年でした。来年は、もっと積極的に、楽しみます。



菊池

私のバースデーに、21世紀最初の大きな悲しい事件が起きました。来年はハッピートでありますように。



大賀

今年は何も調子を崩すことが多く、「もう若くないのだなあ」と改めて感じさせられた年でした。来年は健康第一で頑張ります。石井



今年ほど平和を願ひ命の尊さを考えた年はありませんでした。世界に平和を、そして皆に笑顔を。



平山

人の親になった。いろんな考え方が変わった。30歳になった今、親から言われてきた事が少し分かった。



阿南

新天地に戸惑い、未だ判断がつかないこともある。何だかすっきりしない年越しだな。



石丸

やっとまわりが見えてきました。学ぶことが沢山ありました。一番自分を成長させてくれたのは、皆です。



上野

自分を見失いかけた一年。またもや皆の頑張りとお笑いに助けられた年だった。来年はいいかげん心の自立をしなければ。できるかなあ？



佐藤

一年が一月に感じるほどあっという間に過ぎた年でした。来年こそは余裕を持てるココロで構えたいと思います。あとは勉強の方



井島

沢山の人達を支えられ、色々な事を学んだ一年でした。来年は一人一人の利用者がより輝けるよう頑張ります。



高橋

農耕班2年目にして、ようやく農業の楽しさを感じることができました。そして、工夫することの大切さを実感した1年でした。



石田

毎日が驚きと発見の連続で、泣いたり笑ったりと色々な事がありました。これを来年に繋げていけるよう頑張りたいです。



大石

今年、接した事がない利用者の方から名前を呼ばれて大変びっくりした事があり、やっと三気の里の一員になれたような気がしました。



橋口

今年はいろんな人と出会い、協力していただきました。来年は、この関係をより深めていきたいと思っています。



榎本

公私ともにHAPPYな一年でした。自分らしさを忘れず見失わず、負けないぞ。



八木

今年、新しい班に移動になり、色々なことに驚いたり、悩んだり感動したりと。とても充実した年でした。



宮原

アメリカテロ事件、将来の不安を感じた。皇孫子様御誕生、日本中が喜んだ。我が家にも二男誕生5人家族になった。



木下

人は人によって救われる。そんな一年でした。多くの貴重な出会いは私の宝です。ありがとう。



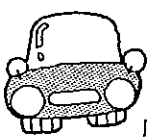
大石

一度も風邪を引かなかったが、大打撲をしてしまった。他の職員に迷惑を掛けないよう、来年は気をつけます。

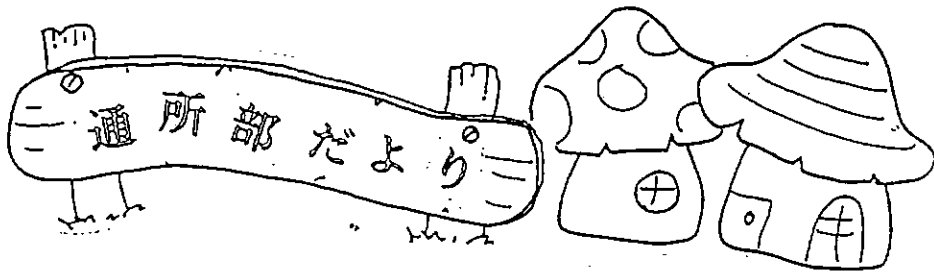


恵良

今年も新メニューが沢山増え、やり甲斐のある一年でした。来年も期待しつつ仕事を頑張りたいと思います。



厨房 国本



1月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土	備考
高森さん・園田さんお誕生日おめでとう! 15日 レク、14日 田口さん成人式		1 ⑩ 元旦 ⑪ 休み	2 ⑫ 休み	3 ⑬ 休み	4	5 ⑭ 休み	
6 ⑮ 休み	7	8	9	10	11	12 ⑯ 休み	
13 ⑰ 休み 高森さん誕生日(19)	14 ⑱ 休み 田口さん成人式	15 ⑳ レク	16	17	18	19 ㉑ 保護者会	
20 ㉒ 休み	21 ㉓ 休み	22	23	24 園田さんの誕生日(19)	25	26 ㉔ 休み	
27 ㉕ 休み	28	29	30	31	㉖ 1~3、5、6、12~14、20、21、26 27日 休み ㉗ 19日 保護者会		



通所部通信

いよいよ今年も最後の月に入り、日に日に温かい布団から出るのがおっくうになりつつあるこの頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。通所部の利用者の人達は、毎朝保護者の方と白い息をはきながら元気に登園されています。

通所部は今月から新しく地域との交流活動として、毎週水曜日にボランティアワークを始めました。内容は、西原村にある肥後カントリークラブ様の御好意により清掃作業をさせて頂いています。まだ、一回だけの活動ですが、少し紹介をしたいと思います。

始めは園外活動で少しテンションのあがっていた坂田さん。時間が経つにつれて「大人だけん！」といいながら落ち葉をゴミ袋一杯に拾ってくれました。体の大きな園田さん。落ち葉と砂利をコンテナでしっかり振り分けてくれました。

初めての場所で少し緊張さみの赤星さんは、皆が使った作業道具を片付けてくれました。

高森さんは、額に汗しながら落ち葉を竹箒で一方所に集めてくれました。

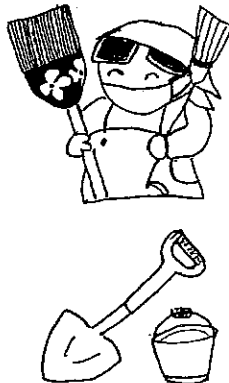
千田さんは、皆が落ち葉を入れるために、ゴミ袋の口を開けて待っていてくれました。

春野さんは、ゴミ袋一杯の落ち葉を抱え、しっかり運んでくれました。

田口さんは、溝に溜まった落ち葉をスコップでしっかりかき出してくれました。

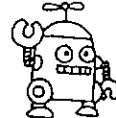
皆さんそれぞれが、出来ることで力を合わせた清掃活動できれいになった場所を見ると、清々しい気持ちになりました。まだまだ始めたばかりの活動ですが、これから園内の清掃活動で練習を積みながら、利用者の方にもこの清々しさを感じてもらいたいと思います。

岩田



1月の行事予定

月	火	水	木	金	土	日	備考
	1 元日	2 ◆ 初詣で	3	4	5	6	
← 冬季帰宅 →							
7	8	9 舞永さんの誕生日(30)	10 ■ 2班レク	11	12	13	
14 成人の日	15 洋一さんの成人式	16 光紀さんの誕生日(30)	17 ■ 4班レク	18	19 ■ 保護者会	20	
21	22 ■ 3班レク	23 ■ 5班レク	24 ■ 誕生会 ■ 1班レク	25 / たんぼ編集日	26	27	
28 伴島さんの誕生日(33)	29	30 俊さんの誕生日(32)	31	◆ 舞永さん・光紀さん・牛島さん・俊さんお誕生日おめでとう！ ◆ 2日 初詣で、14日 洋一さんの成人式、19日 保護者会 ◆ 24日 誕生会、/ 25日 たんぼ編集日			



ボランティア通信

餅つき大会では地域の方をはじめ、たくさんの方のボランティアの方に参加して頂きありがとうございます。毎回、ボランティアに参加して頂いた方には感想を書いてもらっているのですが、「初めて施設のボランティアに参加しました。楽しかったです。」「今回が2回目の参加です。また呼んで下さい。」など有り難い感想をいただいています。来年はもっとたくさんの方にまた参加したいと言っていたようにボランティア担当一同、気合を入れて頑張りたいと思います。井手

(ボランティアありがとうございます)

☆餅つき大会
徳永 大介・牛草由紀子
浦本 健・内田咲智子
高崎 恵美・平田ひろみ
有働 理恵・中川 学
田口 怜士・山本 亜希
神原 弘道・阿瀬知隆二
矢野 賢・箱崎 祐樹

☆散髪
西村 栄子
坂本シマ子
田畑美智子

編集後記

まさに今、今年度最後のたんぼ編集が行われている。少々腰の痛そうな編集長Iさんの隣でYさんが心配そうに見つめる中、カットの神様Eさんはその目を鋭く光らせ、Mさんは編集の厳しさを目の当たりにして天を仰ぐ。そんな中、皆思うのだった。“Oさんの若さにはやはり勝てない...”と。

江下 和雄・阿瀬知秀子
村上すみえ・麻生 扶美
芹口由美子・森の子供会
小野 賢二
(九電工) 山本 泰弘
井手口 淳・藤山 武史
西 泰彦 (敬称略)

〈11月、12月出張・研修報告〉
・11月24日〜25日
心理リハビリテーション
出張者 全国大会 兵庫大会
木下
・11月30日〜12月1日
保護者、職員研修
グループホーム及び施設見学
福岡、佐賀へ